

# ちょっと読んでみませんか（令和六年春季彼岸）

第72話『御開山日健上人 400遠忌』（ごかいさんにちけん） 本源寺副住職 本間健司

皆さんは、仏教における「開山（かいさん）」という言葉をご存知ですか。そのまま読むと「山を開く」となりますが、何の事だろう…と疑問に思いませんか。

実は、仏教において「開山（かいさん）」、丁寧に言うと「御開山（ごかいさん）」は、お寺を開いた僧侶・お上人のことを指すのです。

お寺というのは修行の場所ですから、修行に適した自然豊かで喧騒を離れた場所として、山を切り開いてお寺を創建することが多かったわけです。その習わしから、お寺を作ることを「山を開く」と言うようになり、それが転じて、お寺を開いた僧侶のことを「開山」「御開山」と呼ぶようになったのです。

ですから、お寺には必ず開かれた山の名前として「山号（さんごう）」を寺院名の上に付けて、『○○山△△寺』と名付けられるのです。

日蓮宗の総本山は、「身延山」久遠寺。そして本源寺は、「蓮華山」れんげさん本源寺 というのが正式名称です。本源寺の「山号」をご存知でしたか？

でも「蓮華山」という山なんて富士宮にありませんよね。実は「蓮華山」とは、富士山のこと。富士山のお膝元にある土地を開いてお寺を創建されたお上人が、最も大切なお経である『妙法蓮華経（法華経）』の「蓮華」の文字を頂いて「蓮華山」と称されたのです。ぜひこの機会に覚えておいて下さいね。

さて、今回のテーマである「日健上人」という方は、慶長三年（1598）に「蓮華山本源寺」を開かれたお上人です。つまり本源寺は、426年の歴史を有するということになります。

そして今年は、「日健上人」が寛永二年（1625）五月十六日にお亡くなりになられて400回忌（遠忌）という大きな節目の年に当たります。

日健上人という方は富士宮市北山のご出身で、わずか二十三歳という若さで、本源寺の本山「法華本門寺根源（北山本門寺）」の第十一代貫首（かんじゅ）様になられた非常に優秀なお上人でありました。

皆さんは昨年の『大河ドラマ』「どうする家康」は御覧になりましたか？

甲斐(山梨)の武田軍が、家康・信長軍を倒すために駿河(静岡)に攻め入ってきましたよね。実はその際に、北山本門寺は武田軍に紛れた盗賊の被害に遭い、数多くの御宝物を盗まれてしまったのです。

当時の本門寺貫首様は日健上人の一代前、第十世の「日殿(にちでん)上人」という方が本門寺を守っておられました。

なんとこの日殿上人は、御宝物を盗まれた責任を深く感じ、飲まず食わずで本堂に籠り、御宝物が返還されることをひたすら祈願し続けたのです。そしてそのまま命を落とされてしまうのです。今では考えられませんかよね。

その後、今度は逆に駿河の地から甲斐武田軍に攻め入るために富士宮を通った家康軍は、戦勝祈願のため北山本門寺に立ち寄ります。その時に家康は、日蓮大聖人直筆の大曼荼羅(まんだら)御本尊を借り受け、それを馬上に掲げて武田軍に攻め入り、見事勝利を得るのです。

その御本尊には敵方の放った鉄砲玉跡がくつきりと残っていることから、古来『鉄砲御本尊』と呼ばれ、難除けの守護本尊として大切に護られてきました。

そして、武田軍に勝利した家康は、本門寺への戦勝御礼として富士宮村民の生活の助けとなる灌漑用水Ⅱ「北山用水(本門寺用水)」を引かれ、また、さきに強奪された多くの御宝物を返還させるための働きかけをされました。

その際に、駿府城において家康の御前で見事な説法を披露されたのが、本源寺の御開山でもある「日健上人」だったのです。いま本源寺で修行させて頂いている身として、大変誇りに感じます。

さて、その日健上人が開かれた「蓮華山本源寺」ですが、創建された慶長三年(1598)から元和元年(1619)までの二十年程は、富丘村の和田という土地にありました。その後、日健上人の弟子「日仙(にっせん)上人」が現在の原(白糸中原)の地に移されたわけです。

この地を選ばれた理由。それは“海拔五百メートルで眺望絶景、東に富士を仰ぎ、南に駿河湾と伊豆半島を遠望できる”という勝れた立地が、法華経・御題目の教えを遥か遠くまで伝えていきたいという、御開山上人の強い想いに合致していたからでしょう。

明治期には、日本全国に広がった仏教排斥運動によって存続の危機に陥りましたが、地域住民の強い願いにより小学校【高根(たかね)学舎】として活用されながら、歴史の糸を紡いできました。そのことから、現在でも「白糸小学校発祥の地」として小学生が見学に訪れています。

さて、本山である法華本門寺根源（北山本門寺）では、先ほどの日殿（にちでん）上人をはじめ多くの先師が命懸けで護り伝えてきて下さった御宝物を大切に保存するため、毎年四月十三日に、御宝物に風を通す『お風入れ法要』を実施しています。

そして今年は、400遠忌という大きな節目を迎えた「日健上人」が直筆された大曼荼羅御本尊も二幅お風入れされ、参拝者に拝観して頂く予定になっています。

この100年に一度の貴重な機会に、「御開山日健上人」の御筆を拝しながら、当時の戦乱期のなか命懸けで教えを伝えられたその想い、そして、大変な状況の中「本源寺」という一寺を開かれた、その熱意を御本尊から感じられてはいかがでしょうか…

本源寺を開かれた「日健上人」に心よりの感謝と敬意を込め、合掌

**南無妙法蓮華經 南無妙法蓮華經 南無妙法蓮華經**

★『御霊宝お風入れ法要』 四月十三日（土）午前十一時より

於 富士山法華本門寺根源（富士宮市北山4965 TEL58・1004）

※どなたでも自由にお入り頂き拝観できます。